

手から生まれる、それぞれの世界。

sho-roku

tsukasen.

mafiyu

mitomo

2025 10.10^{〔金〕} — 19^{〔日〕} 10:00 - 17:30
休館日 火曜日

場 所 S BRICK LESSON SPACE (〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋1丁目1-8)

後 援 淡路県民局 / 洲本市 / 洲本市教育委員会 / 淡路市 / 淡路市教育委員会 / 南あわじ市 / 南あわじ市教育委員会

この事業は、(一財)淡路島くにうみ協会の助成を受けて実施しています。

淡路津名紙でつなぐ世界

あ
わ
じ
つ
な
が
み

手漉きの和紙とCREATORS

漉く。切る。書く。染める。描く。それぞれの手が紙に命を吹き込む。

淡路島で唯一の手漉き和紙工房「松鹿(しょうろく)」を営む奥田好治さん。その手によって生みだされた「淡路津名紙」の美しさに魅了されたアーティストたち。切り絵、書道、バンドルダイ(植物染め)、絵画、さまざまな分野で活動する表現者たちが、各々の手を動かし、和紙という素材と真摯に向き合い、それぞれの世界観を立ち上げました。異なるアプローチを通して、想いが込められた作品の数々。伝統的な手仕事の温もりと、個性豊かな表現が交差する空間には、和紙の新たな表情が引き出された作品が並びます。

素材はひとつ。けれど、表現は無限。アーティストたちの“紙との対話”を、ぜひご覧ください。

voice

淡路津名紙について

淡路島における手漉き和紙の歴史は古く、古代には戸籍用紙を納めた「十六国」(越前・阿波など)のひとつに数えられています。素朴であたたかみのある淡路の紙は、長きにわたり島の人々に親しまれてきましたが、機械漉きの普及とともに姿を消しました。それでも、手仕事に宿る美しさを求める想いは絶えることなく、今、津名の地で、その伝統がふたたびよみがえっています。島の風土で育った楮(こうぞ)を使い、一枚一枚、心を込めて漉かれる淡路津名紙。和紙ならではの質感や風合いをお楽しみいただけます。

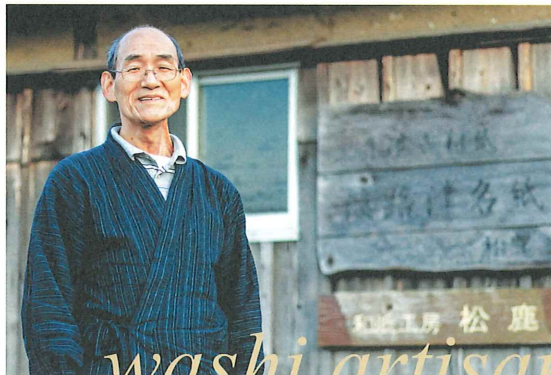
和紙工房

松鹿
しょうろく

兵庫県淡路市にある、淡路島で唯一の手漉き和紙工房。島内で育った自生の楮(こうぞ)を使い、名刺から大判までさまざまな和紙を丁寧に漉いています。工房主の奥田好治さんは、島外で学んだ技術と独自の工夫により、淡路の風土に根ざした和紙文化を現代から未来につなげる活動を続けています。工房では紙漉き体験もっており、楮から紙ができるまでの工程を学びながら、自分だけの和紙を漉くことができます。完成した和紙は、持ち帰ることができ、訪れる人にとっても、特別な体験となっています。

問

〒656-2143 兵庫県淡路市里295
tel.090-3992-6243
<http://sho-roku.com/about.html>



washi artisan

creators



書道家
つ花せん

2013年淡路島に移住。島内イベントにて書道パフォーマンスを行う。古事記の原文を写経用紙に書き写す「写古事記」を日本遺産オリジナルグッズとして制作。お手本に淡路津名紙を使用している。

問

@@five_colors_of_love



切り絵アーティスト
まふゆ
フォトアーティスト
慎一郎

洲本市在住の夫婦アーティスト。和紙を染め入れるまふゆの切り絵と、写真で描く慎一郎のフォトアート。淡路津名紙に想いを込めて、世界に溢れる美しさを作品に紡ぎ合わせます。

問

@@drop_of_light112
@@baby.jive.dream



染色アーティスト、
メンパINT書騎士
見灯

南あわじ市出身。絵描きとして草木染めの技法「バンドルダイ」に惹かれ、自然の色彩を独自に学びながら制作。淡路津名紙の繊細さを生かし、和紙×バンドルダイに挑戦している。

問

@@nadarakani

From
徳之島



美術家
のせたかこ

宇宙、地球、自然、人間、生物をキーワードに繋がりをもったテーマとして絵画を中心に表現活動をおこなう。2012年オーストラリア先住民族と交流。帰国後は土や石、貝などで顔料を作り爪楊枝の先でドットするという独自のスタイルで制作をしている。

問

@@ewopitte



スペシャル参加
松鹿舎

家族で紡ぐ手漉き和紙のストーリー。国内外での撮影を通じて移ろう風景や時間を写し出しています。大判の絵てがみには淡路島の豊かな恵みと季節の息吹を込めています。

問

@@shorokusha

松鹿会のご案内

淡路島に伝わる手漉き和紙の歴史と技術を次世代へつなぎ、その魅力を世界へつなぐ場として、令和7年2月に発足しました。淡路津名紙の現在の状況を広く知っていただき、地域に根差した文化資源の再興に向けて、一緒に活動して下さる仲間を募集しています。将来的には、和紙製作の作業を分業化・単純化し、障がい者や高齢者など多様な人が関わられるよう、地域における包摂的な雇用・社会参加の新たなモデルづくりを目指しています。